

A photograph showing a group of people walking away from the camera on a paved path. The path is flanked by rows of cherry blossom trees in full bloom, their pink flowers creating a canopy. To the right of the path is a field of bright yellow flowers, possibly rapeseed or mustard. The people are dressed in casual spring attire, and the overall scene is one of a pleasant walk in a park during the cherry blossom season.

は「住みよいまちだと思いますか。」という質問を行つたところ、「住みやすい」と回答した方が $60\cdot9\%$ 、「住みにくい」と回答した方が 14% 、その他の回答が $25\cdot1\%$ でした。

また、「住みよい」「住みにくい」理由についての、主な回答は次のとおりです。

町民の皆様からの御意見を踏まえ、慎重に議論を重ね、松田町総合計画審議会においても、活発な意見交換を行い計画の策定を進めているところです。さらに、たくさんの町民の皆様からの御意見をいたぐために、子育てに奮闘

町ではこれまで、平成13年度を初年度とする松田町総合計画21を策定し、様々な施策を進めてきました。広報まつだ12月号でお知らせしたとおり、平成22年度をもって松田町総合計画21後期基本計画の計画期間が終了するため、平成21・22年度の2カ年をかけて、(仮称) 松田町第5次総合計画の策定作業を行っているところです。

本計画の策定にあたり、昨年の12月下旬から1月末にかけ、町内の全世帯を対象に町民アンケート調査を実施しましたところ、貴重な御意見をたくさんお寄せいただきました。

7

まつだの

「あした」を話しあう

中のお父さん、お母さんや多くの方々にご協力いただき、まちづくり座談会を順次開催させていただいています。
そこで、今回は、それぞれの状況などについてその概要をお知らせします。

町民アンケート調査結果

松田町内在住の全町民を対象に、平成21年12月28日～平成22年1月31日にかけて各自治会を通じて各戸へ配布し、郵送による回収が行われ、1,509票の有効回答を回収しました。

町議会議員、学識経験者や公募委員から組織されています。ここでは町の長期かつ総合的な目標を定める次期総合計画が、町の発展と住民福祉のさらなる向上に寄与するよう審議を行います。昨年10月27日に開催した第1回の会議をはじめとし、先日6月22日に開催した第5回目の会議まで、町民アンケート調査から考えられる町の将来像、また、住民ニーズをいかに計画の中へ反映させていくべきなのか、また、松田町は今後どのような方向性でまちづくりを進めしていくべきなのかなどについて、町長をはじめ、副町長、教育長とともに、活発な意見交換を行っています。今後も、次期総合計画策定にあたり、松田町に住んでいてよかったです、また、他地域にお住まいの方からも住んでみたいと思つてもらえるような豊かな自然を活用した夢のある松田町を目指し、活発な議論を行つていく予定となつて

総合計画審議会では

※数値は全体の回答に占める割合です。	
住みよい理由	割合(%)
豊かな自然に恵まれている	63.9
自分の家（土地）がある	54.4
交通が便利	52.1

住みにくい理由	割合(%)
大型専門店がない	63.8
日常の買い物が出来ない	58.0
交通の便が悪い	32.9



綜合計画審議会

分野別まちづくり座談会は

今後は



松田町総合計画 21 の重点施策新松田駅南口の整備